

医学系大学産学連携ネットワーク協議会 (medU-net) ～平成26年度活動報告～

報告：medU-net運営委員長 石埜正穂
(札幌医科大学大学院医学研究科教授)

medU-netについて

◎ヒトを対象とすることによる研究・コスト・倫理・規制上の障壁

(開発の決定およびプロセスにおいてヒトでの実証が必要)

- ・ベンチャーの不在
- ・大学の臨床研究力の不足
- ・技術移転に費やされる時間
 - ⇒資金難（特許維持管理費と研究費の確保に課題）
- ・産業自体が発展途上（個別化医療・再生医療）
 - ⇒知財・開発・ビジネス戦略の困難性

◎上記に対応できる専門家およびシステムの不足

医療・医薬・診断薬・各種医療機器・再生医療

- ・夫々の分野に精通した専門家のフォローが必等
- 知財・ビジネス・薬事開発
- ・異なるタイプの企業との接点が必要

medU-net

医療イノベーションの加速に向け産学連携機能の強化・活性化に取り組むアカデミア連合

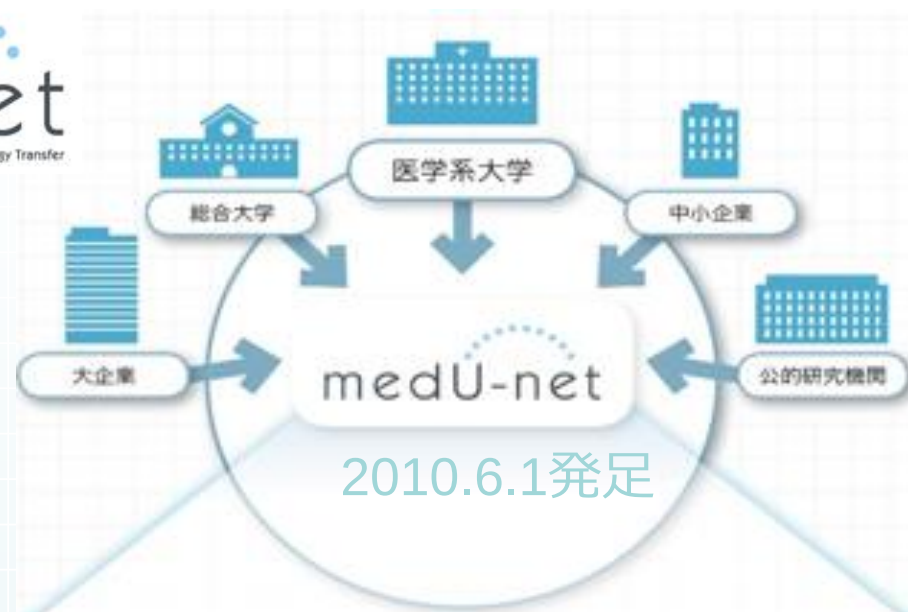


○理念

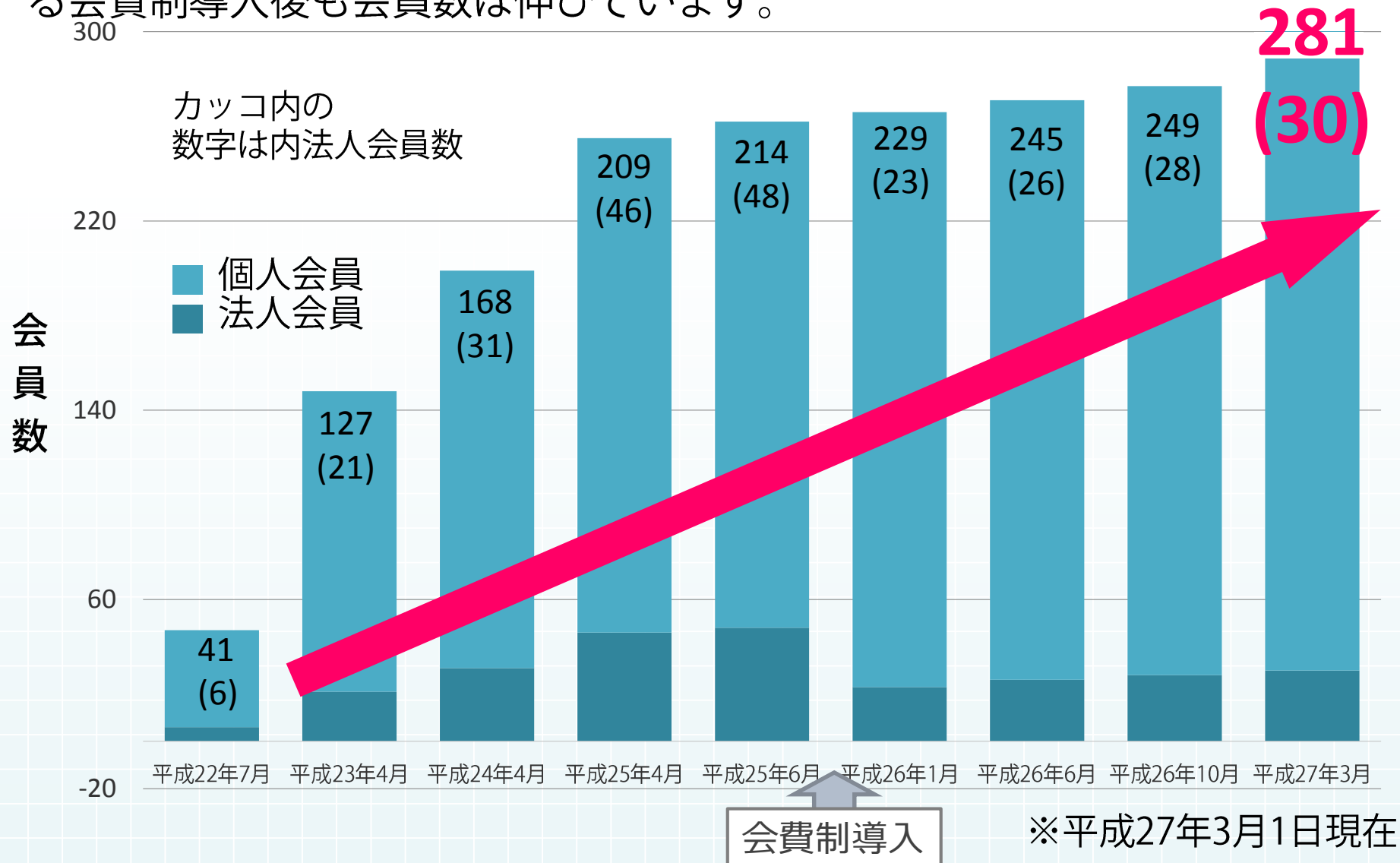
医学系大学産学連携機能の強化及び活性化を通じて医療の発展に資すること

○機能

- ・医療系アカデミアの産学連携標準化
- ・医療系アカデミア発の政策提言

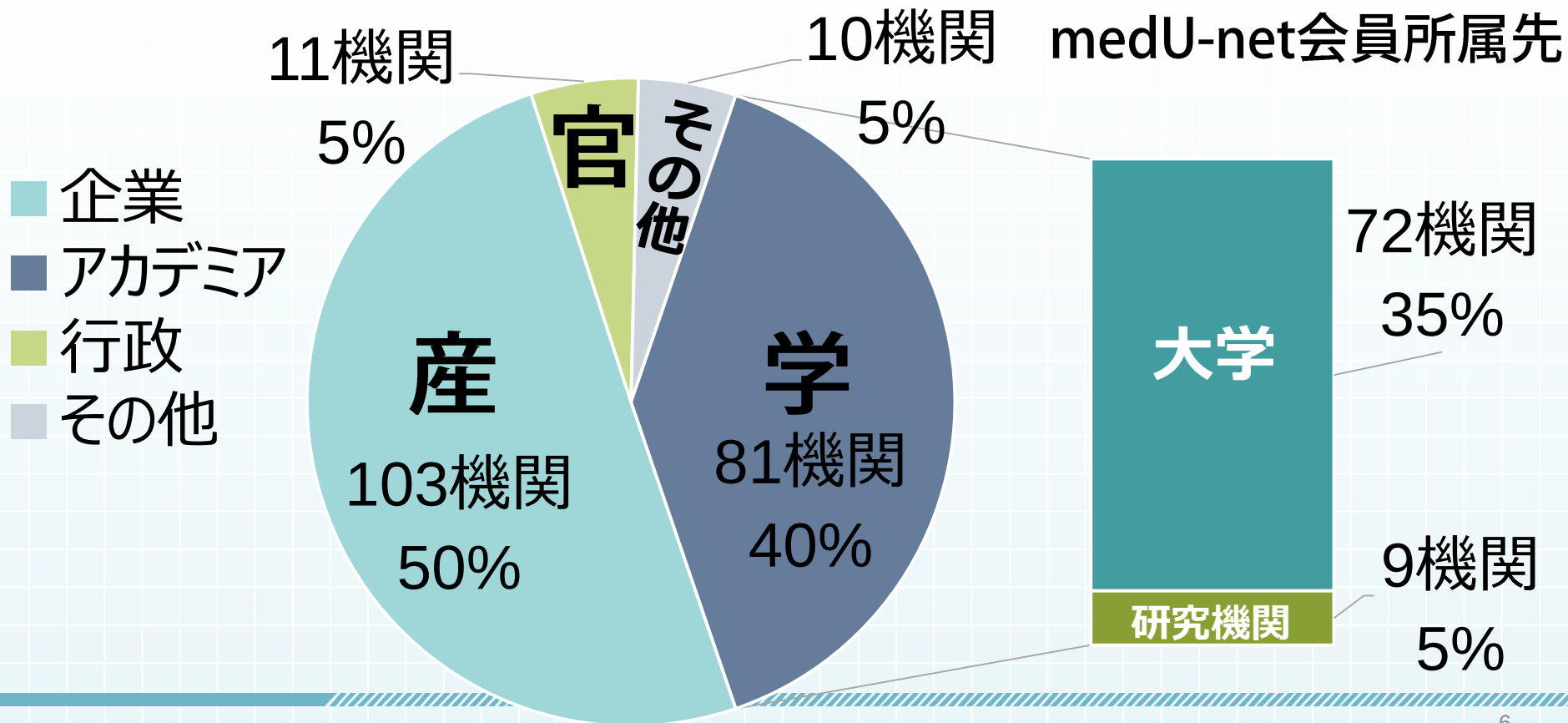


平成22年の設立より会員数は毎年増加しており、平成25年の法人会員に対する会費制導入後も会員数は伸びています。



会員総数：311 (平成27年3月1日時点)

	産	学	官	その他	計
個人会員数	116人	132人	22人	11人	281人
機関数	103機関	81機関	11機関	10機関	205機関
内、法人会員	4機関(3%)	25機関(30%)	1機関(9%)	0機関(0%)	30機関(14%)



medU-net
Japanese Association of Medical University Network for Technology Transfer



運営委員会（26年度は7回開催）

- ・ 第1回 平成26年4月24日
- ・ 第2回 平成26年6月2日
- ・ 第3回 平成26年7月14日
- ・ 第4回 平成26年9月4日
- ・ 第5回 平成26年10月27日
- ・ 第6回 平成27年1月13日
- ・ 第7回 平成27年3月3日

26年度運営体制

会長

森田育男（東京医科歯科大学 理事・副学長・研究産学連携推進機構長）

運営委員

石埜正穂（札幌医科大学 大学院医学研究科 教授） *運営委員長

西村訓弘（三重大学 副学長・大学院医学系研究科 教授）

内海 潤（がん研究会 研究本部 知財戦略担当部長）

水谷修紀（東京医科歯科大学 副学長・産学連携推進本部長）

飯田香緒里（東京医科歯科大学 研究産学連携推進機構 教授） *事務局長

進藤秀夫（東北大学 産学連携担当理事）

監事

塩谷克彦（東北大学 産学連携推進本部 知的財産部長・特任教授）

平成26年度イベントカレンダー

開催月	会議	セミナー	イベント
4月	第1回運営会議		Bio Japan共同出展者募集開始
5月			
6月	第2回運営会議		
7月	第3回運営会議		
8月		産学連携契約セミナー	
9月	第4回運営会議 産学官連携検討会		第1回ケーススタディワーキング
10月	第5回運営会議	第1回RSセミナー	Bio Japan2014 朝日ビジネスマッチング
11月		第2回RSセミナー 第1部バイオ入門講座	HOSPEX JAPAN
12月		第3回RSセミナー 第2部バイオ入門講座	
1月	第6回運営会議	第4回RSセミナー 4大学合同特別講演会	第2回ケーススタディワーキング
2月		第5回RSセミナー 4大学合同特別講演会	
3月	第7回運営会議		公開シンポジウム

1. 課題解決に向けた活動

2. 共通課題解決へ向けた取組

(1) ケーススタディワーキング

medU-netでは、産学連携実務に関するスキルを習得及び強化することを目的に、各会員機関が実務体制等を共有する会として、ケーススタディワーキングを定期的を開催しています。

(2) ワーキンググループ活動

医学系産学連携活動に係る課題を解決するために行政機関、産業界と連携したワーキング活動を実施しています。

平成26年度 第1回medU-netケーススタディワーキング（9月3日）

テーマ	参加者
○「産業界との対話」 ＜ゲスト＞ 製薬企業（第一三共（株）、味の素製薬（株） 塩野義製薬（株）、都市活力研究所） モデレーター 札幌医科大学 大学院医学研究科教授/medU-net委員長 石埜 正穂	23
○「医学研究利益相反マネジメント」 ＜ゲスト＞ 厚生労働省研究開発振興課 課長補佐 南川 一夫 氏 モデレーター 東京医科歯科大学 産学連携研究センター長/medU-net事務局長 飯田 香緒里	22
参加アカデミア機関 国立がん研究センター、東京都医学総合研究所、福島県立医科大学、聖マリアンナ医科大学、名古屋大学、長崎大学 旭川医科大学、川崎医科大学、埼玉医科大学、京都大学、信州大学、滋賀医科大学、国際医療研究センター、日本医科大学	

平成26年度 第2回medU-netケーススタディワーキング（1月13日）

テーマ	参加者
○「職務発明に関する法改正の動きについて」 <ゲスト> 特許庁総務部総務課 制度審議室 室長 中野 剛志 氏 モデレーター 東京医科歯科大学 産学連携研究センター長/medU-net事務局長 飯田 香緒里	31
○「日本版バイ・ドール制度の運用見直し」 <ゲスト> 経済産業省 産業技術環境局産業技術政策課 成果普及・連絡推進室 室長 島津 久樹 氏 モデレーター 札幌医科大学 大学院医学研究科教授/medU-net委員長 石埜 正穂	31
○「医学系URAの在り方」 モデレーター 東北大学 産学連携担当理事/medU-net委員 進藤 秀夫	25

参加アカデミア機関

東京都医学総合研究所、筑波大学、精神・神経医療研究センター、お茶の水女子大
 福島県立医科大学、帝京大学、川崎医科大学、東京大学、長崎大学、聖マリアンナ医科大学
 上智大学、明治薬科大学、富山大学、早稲田大学、国立がん研究センター、放射線医学総合研究所
 東京女子医科大学、旭川医科大学、埼玉医科大学、京都大学、東北大学

ワーキンググループ活動

連携シーズ創出ワーキンググループ

製薬業界が希望するmedU-net参画大学のバイオリソースや臨床ニーズ情報をデータベース化し、連携シーズを創出することを目的とした検討を行っております。日本製薬工業協会の協力を得て、製薬業界関係者からみた「medU-net連携の出口プランを」見出すためのアンケート調査も行っております。

OACIS（オアシス）ワーキンググループ

medU-net会員の種別毎に存在する多様なニーズにこたえる企画を実施することを目的に、今年度新設したワーキンググループです。

- O** … 大学の産学連携のアウトプット(**O**utput)の発信等を通じて
- A** … 新たな企業と大学の連携(**A**lliance)を促進し
- C** … 実用化を目指した産学連携スキームの創造(**C**reate)をサポートし
- I** … 日本発の医療イノベーション(**I**nnovation)を巻き起こすことを可能にする
- S** … 仕組み(**S**ystem)の構築を目指したワーキンググループです。

2. リソースの共有

情報の共有（ホームページ）

- 各種情報の掲載（セミナー、公募等） ※法人会員特典
- 必要な法規・指針・ガイドライン情報
- 各会員機関の報告書等刊行物の掲載 ※法人会員特典
- ケーススタディワーキングの成果
- 推奨する産学連携ツール（各種雛形等）等



情報の共有（メールマガジン）

情報発信者



企業法人会員



アカデミア
法人会員



medU-net
事務局

研究公募情報
求人情報

セミナー情報
求職情報

イベント情報
(主催・共催)

medU-net通信
約50通/年



会員の依頼により配信した
medU-net通信
(平成26年度)

medU発	17件
アカデミア機関	16件
企業	5件
協力機関	11件
合計	49件

学会等における発表

産学連携学会 第12回大会

平成26年6月25日～27日

『医学系産学連携評価制度を活用した大学制度改革』

飯田香緒里（東京医科歯科大学）・網中裕一（東京医科歯科大学）

第4回レギュラトリーサイエンス学会 学術総会

平成26年9月5日

『アカデミア創薬創生のための医系大学向けレギュラトリーサイエンス』

内海 潤（(公財)がん研究会）・青木一正（(公財)東京都医学総合研究所）

飯田香緒里・森田育男（東京医科歯科大学）

日本知財学会 第12回年次学術研究発表会

平成26年11月29日～30日

『医学系大学産学連携ネットワーク協議会(medU-net)の活動』

石埜正穂（札幌医科大学）・飯田香緒里（東京医科歯科大学）・西村 訓弘(三重大学)

日本製薬工業協会 ライフサイエンス知財フォーラム2015

平成27年2月17日

『医療イノベーションへの展望～医学系アカデミアの課題とmedU-netの取り組み』

飯田香緒里（東京医科歯科大学）



医学系大学産学連携ネットワーク協議会（medU-net）主催

産学連携実務のための契約セミナー

日時 第1部 平成26年8月27日（水）18時～20時

『これだけは知っておきたい契約書の基礎知識』

1. 契約書の見方・つくり方の基本
2. 契約書を巡る紛争～よく問題になる条項例
3. 秘密保持契約の実例とチェックポイント
4. 質疑応答

第2部 平成26年9月3日（水）18時～20時 懇親会 20時15分～

『産学連携でよく使われる契約書の実務』

1. ライセンス契約（1）許諾技術の特定（2）ロイヤリティの計算と回収
2. 共同研究開発契約（1）共同研究開発契約のポイント（2）共同研究開発を巡る紛争
3. 質疑応答

懇親会 9月3日（水）20時15分～ 会費 4,500円 会場未定

※講師の酒田先生も参加いたします。

※同日に開催するCSWにご参加の皆様も奮ってご参加ください。

会場 第1部：東京医科歯科大学 M&Dタワー 2階 共用講義室2 アクセス地図はこちら
第2部：大学内会議室 未定（※第1部ご参加時にアクセス地図を配布予定）

講師 TMI総合法律事務所 パートナー弁護士 淵邊 善彦 氏

1987年東京大学法学部卒業し、同年に弁護士登録。西村眞田（現西村あさひ）法律事務所勤務。
1995年ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（LL.M.）卒業。ロンドン及びシンガポールのノートン・ローズ法律事務所勤務、西村総合法律事務所勤務、日商岩井株式会社（現双日）法務部出身を経て、2000年TMI総合法律事務所にパートナーとして参画。中央大学ビジネススクール客員教授も務める。主な取扱分野は、一般企業法務、M&A、国際取引等。

受講料 法人会員：各機関5名まで無料

個人会員：アカデミア※ 1回 8,000円 / 全2回申込 12,000円

アカデミア以外 1回 10,000円 / 全2回申込 16,000円（全てテキスト代込み）

※アカデミア・大学ならびに研究機関

参加資格 本セミナーはmedU-net会員限定イベントです。本会に未登録で参加を希望する場合は、こちらから事前に会員登録（法人会員《年/10万円》/個人会員《年/無料》）をお願いいたします。

定員 事前申込み制 先着 40人※参加人数把握のため、法人会員も必ず事前にお申込みください

申込方法 下記の申込みフォームの「セミナー参加に関する注意」をご一読の上、お申込みください。
受講料が発生する場合、会場にて請求書をお渡ししますので、期日までのお振込みをお願いいたします。（現金でのお支払は一切受け付けておりません）

<https://zz104.secure.ne.jp/~zz104015/Forms/seminar/form.cgi>

	第1回	第2回	4日間 平均
申込者	40	38	39
参加者	36	33	35
参加率	90%	86%	89%



大学 産学連携部署

難解の内容が非常に分かり易く
実務に則した資料になっており
説明も分かり易かった

ご経験にもとづいた具体的な
契約条項の考え方で、非常に
有意義な講義内容だった



大学 産学連携部署



研究機関 知財部門

アカデミア→企業のライセンス
でアカデミアが注意すべき点の
説明をもっと聞いてみたい

『産学連携実務のためのバイオ入門講座』

medU-net
Japanese Association of Medical University Network for Technology Transfer

医学系大学産学連携ネットワーク協議会 (medU-net) 主催
『産学連携実務のための
バイオ入門講座』

バイオを基礎知識から習得したい方を対象に
これまで体系的に学んでこなかった
「バイオ」について基礎的知識から学ぶための
入門講座を開催いたします。

講師：公益財団法人京都高度技術研究所
産学連携事業部 医工薬産学公連携支援グループ
プロジェクトディレクター 谷田 清一 氏

会場：東京医科歯科大学 M&D タワー9階
大学院講義室4

バイオを基礎知識から習得したい方を対象に、これまで体系的に学んでこなかった「バイオ」について、基礎的知識から学ぶための入門講座を開催しました。参加者からの評価も高く、来年度も開催を予定しております。

仕事の中で理解していなかったことへのイメージや理解が高まった。



大学 産学連携部署

分かり易く解説していただき
大学に戻った際に先生と問題なく会話ができる



大学 研究者

	第1回	第2回	第3回	第4回
申込者	43	44	44	44
参加者	37	36	37	36
参加率	86%	82%	84%	82%

『アカデミア発医薬品・医療機器のためのレギュラトリーサイエンスセミナー』

- アカデミアにおいてもレギュラトリーサイエンスを加味した研究活動を推進するため、**厚生労働省・PMDA**から講師を招き開催
- アカデミアほか企業・行政の参加者にも好評を博す
- RSの重要性に鑑み、今後は応用編の開催も検討中



大学 産学連携部署

厚労省が取り組む研究推進や国が目指す医学の推進加速化の全体像を網羅した講義で大変参考になった

PMDAの安全性情報対応と今後の展開プランを知ることができた。安全性の考え方をすることは重要な薬事戦略になる



研究機関
知的財産部署

medU-net
Japanese Association of Medical University Network for Technology Transfer

平成 26 年度 medU-net 会員限定イベント
**アカデミア発医薬品・医療機器のための
レギュラトリーサイエンスセミナー**

medU-net では、昨年度の開催において皆様の高い関心を得られた「レギュラトリーサイエンスセミナー」を今年度も開催いたします。医薬品・医療機器の開発と製品化には、薬事法を含むレギュラトリーサイエンス (RS) の知識と実践が必須です。RS 戦略があつてこそ、効率的な産学連携が推進すると言っても過言ではありません。しかしながらアカデミアでは、RS 機能の整備は、ようやく認識され始めたというのが事実です。このような背景から、medU-net では、厚生労働省並びに独立行政法人 医薬品医療機器総合機構の全面的なご協力を得て、セミナーを開催します。

また今年度は、厚生労働省経験者である東京医科歯科大学リサーチユニバーシティ推進機構リサーチアドミニストレータ室 URA/ 特任教授の長谷部先生に特別講演でご登壇をいただく予定です。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

開催日時：平成 26 年 10 月～平成 27 年 2 月 (全 5 回)
+ 特別講演会
定 員：60 名 (先着順)

	第1回	第2回	特別 講演会	第3回	第4回	第5回
申込者	22	26	34	22	27	29
参加者	21	21	25	13	12	18
参加率	95%	81%	74%	59%	44%	62%

Bio Japan共同出展

平成23年度 10月5日～7日 Bio Japan2011 全8機関
平成24年度 10月10日～12日 Bio Japan2012 全8機関
平成25年度 10月9日～11日 Bio Japan2013 全11機関



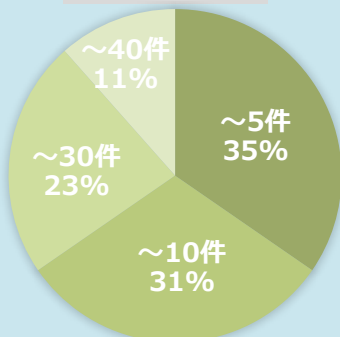
平成26年度 10月15日～17日 Bio Japan2014 **全13機関**

東京医科歯科大学・札幌医科大学・滋賀医科大学
聖マリアンナ医科大学・宮崎大学・東京都医学総合研究所
富山大学・長崎大学・浜松医科大学・岐阜大学・中部TLO
国立がん研究センター・川崎医科大学

過去最大の合同出展となったBioJapan2014では、参加機関の商談と名刺交換が活発に行われました。

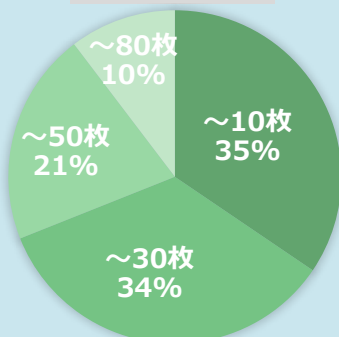
Bio Japan2014における平均商談数・名刺獲得数

平均商談数



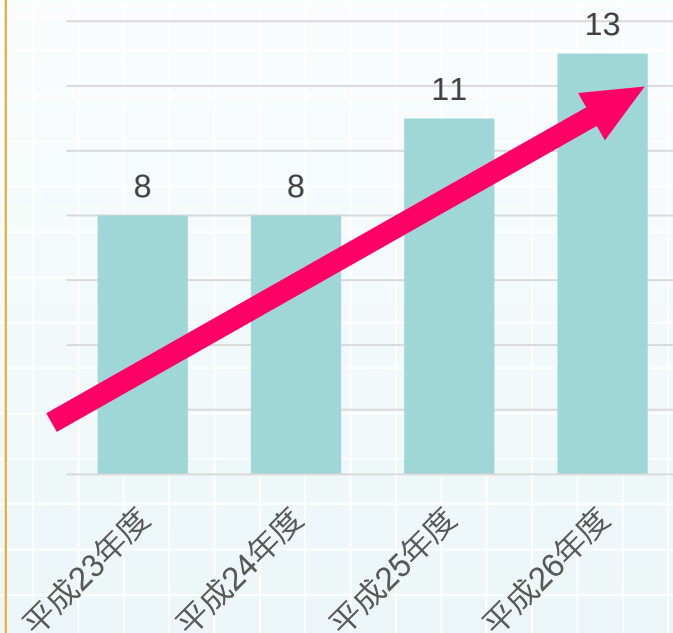
9機関からの回答

名刺獲得数



10機関からの回答

共同出展機関数



その他展示会出展

平成26年度

10月21日 朝日信金ビジネスマッチング2014



11月12～14日 HOSPEX JAPAN2014



medU-netは、より多くの企業・機関に本会の活動を周知するため、平成26年度よりホスベックスジャパンへ出展をすることと決定いたしました。

medU-netとして出展ブースを設け、当会の活動のみならず、当会のアカデミア法人会員の機関紹介も併せて行うことにより連携の相乗効果を目指し、外部の方への有効的な周知の場として活用します。

3. 政策提言

パブコメ 平成26年度 職務発明制度の見直しに向けた意見を提出

平成27年1月15日

「産業構造審議会 知的財産分科会 特許制度小委員会 報告書「我が国のイノベーション促進及び国際的な制度調和のための知的財産制度の見直しに向けて」（案）に対する意見

医学系大学産学連携ネットワーク協議会 意見書（概要）

- ・報告書案における職務発明の見直しに関する考え方（今後の新しい産業構造を見据えた制度見直しの積極的な姿勢・大学や研究機関に関する配慮の明記）を評価
- ・機関において、原始的な帰属先を、発明の属性ごとに分けて予め規定することを可能にするなど、様々な背景の発明を抱える大学等の実情に配慮した制度設計を希望
- ・帰属先やインセンティブの定め方に関する大学等向けの充実した雛形あるいは事例集の作成を希望（医学系大学産学連携ネットワーク協議会も協力したい）
- ・大学等で研究する学生や留学生、研究生、医師等の発明の帰属の不安定さの原因となっている現行の特許法第35条2項の在り方に関する議論が抜けている。今後、廃止を含めた検討を願う

産学官連携検討会（平成26年9月19日）

産学官の関係者が情報交換を行って新たな政策構築に向けて議論しました
(medU-netは行政サイドに提言する取り組み)

行政 (課長、課長補佐)

機関	部署
文科省	産業連携・地域支援課 大学技術移転推進室
経産省	産業技術環境局 大学連携推進室
	経済産業省 製造産業局生物化学産業課
	経済産業省 商務情報政策局ヘルスケア産業課
	経済産業省 関東経済産業局次世代産業課
厚労省	厚生労働省 医政局研究開発振興課 課長補佐
特許庁	総務部企画調査課
内閣府	日本医療研究開発機構担当室

産業界・有識者

機関/部署・役職

日本製薬工業協会 研究振興部
光和総合法律事務所 弁護士

アカデミア

medU-net運営ボード
会長・運営委員長・運営委員

26年度もmedU-netの活動をご支援頂き大変有難うございました。

今後も会員の皆様とともに、医学系産学連携の課題解決に向け積極的に取り組んでまいります。